

## 患者さんへ

### 「喀血患者の重症度や転帰と関連する因子についての検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2014年4月より2024年6月までに当院で喀血が原因で入院を要した患者さん
2 研究目的・方法	喀血は多岐にわたる原因で生じる気道からの出血ですが、軽症から生命を脅かす状況まで幅広い範囲を含んだ症候です。本研究では、入院を要した喀血患者さんの重症度や治療に関わる因子を解明することを目的としています。また、抗血小板薬や抗凝固薬は、命に関わる出血の際には中止せざるを得ませんが、喀血後の治療については統一した見解がなく、喀血リスクや中止/再開に関わる因子も検討します。 本研究では、入院を要する喀血患者さんを対象者として登録し、登録時以降に臨床情報を診療録より取得します。 研究の期間: 施設院長許可(2024年8月)後~2026年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	①患者背景(年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、既往歴、合併症、内服薬等) ②病歴情報(原疾患、喀血歴、喀血の程度、来院形態、バイタルサイン、血液・尿検査、画像、培養検査、病理検査等) ③治療内容・成績: 入院期間、集中治療室入室期間、人工呼吸・血管内治療・外科治療の有無や時期、気管支鏡検査の施行、抗菌薬や止血薬使用の有無、生存期間、再喀血、血栓症、退院先等)
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 福井朋也 湘南鎌倉総合病院 呼吸器内科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号: 0467-46-1717